

①健康な心と体

- 友達と一緒に散歩を楽しむ。
- ・畑を見学したり、ミネラル野菜の話の聞いたり、絵本や図鑑を見たりして野菜への関心が高まる。
- 野菜の苗植えを経験して、嫌いな野菜にも興味を持ち始める。
- 畑の水やりで沢山体を動かし楽しみながら取り組む。
- 野菜の生長に関心をもつ。
- 野菜の収穫では水分補給をしながら取り組む。「野菜もど乾いている。」と気づき水の大切さを知る。
- 野菜の収穫を喜びおいしく食べる。嫌いなピーマンを自分が収穫したので食べてみたらおいしかったと喜ぶ。

②自立心

- 虫を見るのも嫌がっていた子が、虫や花に触れて楽しむ友達姿を見て自ら挑戦し触れることができて満足した。
- 野菜作りに必要な準備物をみんなで確認し、親へ伝える。(自分で長靴を準備したと伝える子がいた)
- 説明を聞きながら、自分で畑に苗の植えつけができたことを満足する。
- 水栽培では、自分が植えたものを世話して植物も生きていくと実感し、続けていこうと取り組む。
- 野菜収穫でナスを回転させて切る、ハサミで切り込みを入れてみるなど、自分で考えあきらめずに取り組む。友達の収穫の仕方を観察して自分も挑戦し達成感を味わう。

③協同性

- 友達と一緒に、保育者の手伝いをする。(野菜の絵本探し)
- 固い土を柔らかくするには、みんなで掘り起こさなくてはいけないことに気づく。
- 作りたい野菜は何かを話し合う。ナス・パプリカ・トマト・オクラ・キュウリ・ニンジンなど
- みんなで協力して、野菜のポスター作りをする。
- 野菜ゲームや本をグループ毎に行くと、独占してしまう子がいたが、周りを見て一緒にできるようになる。
- 野菜の苗植えにみんなで協力して取り組む。
- 収穫では、なかなか取れずに困っている友達を応援したり、一緒に収穫したりして楽しむ。

④道徳性・規範意識の芽生え

- 畑見学をして、耕してみる。スコップを持って順番を待つルールを守り取り組む。
- 畑で見たものを自由に描く。土の中にいた虫や、石ころや、雑草などいろいろと描いていた。何を描いたのかを後で発表する。
- 畑でのルールを静かに聞いてから苗植えに参加する。ルールを守る大切さに気づく。
- 畑の水やりは当番活動で行える日を楽しみに待つ。みんなで野菜が育つために必要な水やりや草むしりを行い野菜が育つのを楽しむ。
- 6月に入り、トマトの収穫が始まる。収穫した野菜を自分のものとしなくて、持ち帰る方法を話し合う。
- 収穫した野菜を保育者と一緒に分けながらビニール袋に入れ、持ちやすいように縛る。

⑤社会生活の関わり

- 保育者の行動を見たり、何をしているのかと聞いたりして、自分のできることを考え、お手伝いする子が増え始めた。
- 畑仕事をしている近所の方に挨拶をしたり、恥ずかしながらも会話をしたり、手を振ったりして、関わりを楽しむ。
- 野菜の苗植えに参加することで、小学校(一年生、先生方)役場(担当者、農林課の方)の方々に関わり合う。小学校に行けたこと、小学生に会えたことを喜ぶ。
- 小学生がコオイムシの卵を発見したことを写真で掲示すると、小学生と一緒に探してみたいと学校への関心が高まる。

ミネラル野菜づくりと「10の姿」との関連



⑥思考力の芽生え

- 野菜作りを小学生と一緒に取り組むことを知らせると学校に行ける期待感が高まる。
- 畑にいたカラスの行動を見て、発見したことや想像していることを話し合う中で、好奇心が高まる。(葉っぱを食べているのかな・違よー石ころだよ・虫だよ…)
- スコップを使って畑の土の中を探索しながら、友達の意見に触れたり自分が気づいたことを知らせたりする。(根を見て、土の中に白い草がいっぱい伸びている…)
- 土と植物のふしぎ(土の中の生き物が動き回ることによって根が伸びやすくなることなど)を伝えると土への関心が高まる。
- 草をむしりながら、土と植物のふしぎを思い出して、根についた土を見て「虫の糞かな?これは栄養満点だね。」と言いながら友達に見せると、周りの子も真似をして探す。
- 「今日は何するの?」と問いかけてくる子が増え、毎日の活動に興味関心が高まる。
- サツマイモが伸びていることに気づく。土の中のサツマイモを想像して楽しむ。

⑦自然との関わり・生命尊重

- 散歩…畑見学をして、アリ、テントウムシ、モンシロチョウ、カラスなどいろいろな生き物を見つけ触れて楽しむ。身近な草花に関心を持ち、タンポポを見る。その周りへ目が行き、生き物の行動にも関心をもつ。
- 畑をスコップで掘り、土の感触を味わう。土の中の生き物や植物の根っこを見たりして楽しむ。固い土を掘り起こすと柔らかくなることに気づく。
- 水栽培のカイワレ大根を見て芽が出ていることに気づく。土が無くても芽を出したことを不思議がる。双葉や本葉に育っていることを喜び7月末まで観察を続けた。暑さに負け、茶色く枯れ始めたことにも気づく。
- ミネラル野菜の苗植えに参加して、畑の中から出てくる虫に興味をもつ子、畑に長靴が抜かり土の柔らかさに気づく子など、さまざまな発見を楽しみながら参加していた。また、野菜に水をあげなくてはと気づく子もいた。
- 6月上旬からトマトの収穫が始まり実ったことを喜ぶ。水やりや草むしりの効果があったことに満足する。
- 小学生がピオトープで見つけたコオイムシの情報を自然コーナーに掲示すると、関心が高まる。
- 野菜の収穫を喜んで行っている。休み明けには野菜が大きくなっていることに気づく。また、鳥獣の食べ跡にも気づき、残念がる。

⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

- 散歩や畑で見つけたアリやテントウムシを数えてみる。戻るとすぐ絵に表現することで、大きさや数への関心が高まる。
- 個人水栽培で蒔く種の数をアサガオとヒマワリは3粒、カイワレ大根は5粒と決め、自分で数えながら準備する。種の数が多のはカイワレ大根だと気づく。
- 水栽培で芽が出始めた数を数え、青・黄ケース・ケース無しの3つを比較する。
- 自分が蒔いた種と友達が蒔いた種の芽の数を比べたり、種の種類ごとに誰の芽が一番大きいかを比べたりして楽しむ。
- 畑で収穫した野菜を数えて、同じ数の分丸シールを貼り野菜別に量を比較する。大量の場合はシール1枚で10個分⑩を記入したシールを貼る。遊びの中で、貼られたシールの数を友達と一緒に数えたり、どの野菜が一番多いか比べたりする。

⑨言葉による伝え合い

- 一羽のカラスに注目して、何をしているのか?気付いたことや感じたことを友達と話し合う。
- 自分はどんな野菜を作りたいのかを発表したり、友達の意見を聞き入れたりする。
- 畑を掘って、発見した動植物をすぐに知らせたり、土の感触を知らせたりする。
- 見本水栽培のカイワレ大根に芽が出たことに気づき友達に教える。自分達もやりたいと意欲を伝える。個人水栽培を始めると、芽の伸び方がまちまちであることに気づき日々会話が盛り上がる。ケースの色で生長が違うことに気づく。
- 当番で野菜へ水やりをしている時に気づいた紫色の綺麗な花は、茄子の花だと知り、みんなへも知らせる。
- 野菜の収穫でトマトの中に青虫が入っていることに気づき注目する。何をしているのかを想像したり園に戻って図鑑で調べたり友達に教えたりする。

⑩豊かな感情と表現

- 散歩で見つけた生き物を見比べ、色と模様や大きさの違いに気付く楽しむ。
- ままごと遊びで、野菜を並べたり、料理して皿に盛りたりするなど、野菜への関心が高まる。
- 戸外遊びは、植物に興味を持ち、中でも根っこ探して草むしりをしては、友達と長さを比べて楽しむ。
- 畑での発見発表を数人行った後、自分が見たものを思い出しながら自由に、絵で畑を表現する。
- ・小さな発見から自分のイメージが広がり表現を楽しむ。ミミズ、ダンゴムシ、アリ、アリの幼虫、石ころ、葉っぱ、根っこなどを描いた。中には、花や虹、ハートなど見えない物を想像して描く子もいた。
- ・絵具で土を塗ると中からはじき出ることを楽しんだり、不思議がったりする。
- ・絵に表現することで、畑への関心が高まる。
- 野菜の苗が育ち花を咲かせたことに気づき、何の花か考えてみたり、赤く実り始めたトマトを見たりして楽しむ。
- 粘土を捏ねて野菜を作り、何の野菜かを友達と話し合いながら遊ぶ姿が見られ、野菜収穫に関心が高まっている。